

科目名	福祉住環境	英語科目名	
開講年度・学期	24年度・後期	対象学科・専攻・学年	建築学科・5年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2 単位	単位種類	学修単位(15+30)h
担当教員	橋本彼路子	居室(もしくは所属)	
電話		E-mail	
授業の達成目標		授業達成目標との対応	
		小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE) 基準要件
1. 住環境整備の重要性を理解し手法を学ぶ		④	A-2 d(2-a)
2. 障害の定義や専門的な用語を理解する		④	A-2 d(2-a)
3. 高齢者と障害者の特性を理解する		④	A-2 d(2-a)
4. 福祉用具の基礎的知識を習得する		④	A-2 d(2-a)
5. 関連する法制度を理解する		④	A-2 d(2-a)
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標 1~5 について、定期試験が主な評価方法であるが、授業内においても習得度をみるために小テストやレポートを行う。60%以上の成績で達成とする。			
評価方法			
定期試験80% 授業内小テストやレポート20%			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. 少子高齢社会と社会状況			4
2. 住まいと法制度	授業の復習		4
3. まちづくりと法制度	授業の復習		4
4. 住環境整備	授業の復習		4
5. 障害とは何か	授業の復習		4
6. 老化と障害	授業の復習		4
7. 介護保険制度、障害者自立支援法	授業の復習		4
8. 住環境整備の重要性	授業の復習		4
9. 障害特性と住環境整備	授業の復習		4
10. 住環境整備に関わる職業と連携	授業の復習		4
11. 障害者の自立と社会参加	授業の復習		4
12. 住環境整備の項目	授業の復習		4
13. 住環境整備の手法	授業の復習		4
14. 生活行為別のバリアフリー	授業の復習		4
15. 福祉用具とさまざまな用具	授業の復習		4
定期試験			
自学自習時間合計			60
キーワード	障害、高齢者、住環境整備、バリアフリー、ユニバーサルデザイン		
教科書	福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト		
参考書	介護・福祉の仕事がわかる本 (日本実業出版社 2012.2)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	(新)インテリアデザイン、建築計画 I A、建築計画 II		
現学年の関連科目	建築計画 III、建築法規		
次年度以降の関連科目	地域設計 I		
連絡事項			
授業の後の復習をしっかりとすること。確認のため、小テストを行うこともある。			
シラバス作成年月日	2012 年 2 月 26 日		